

24年度一般会計86億2600万円に 減額予算でも安心・安全のまちづくりへ

平成24年度 予算決まる

第2回定例議会

浦河町の新年度予算を決める3月定例町議会は、3月6日に始まり、行政側から予算に係る条例案、一般会計予算、8つの特別会計の予算等、23件が提案説明されました。その後12日まで休会し、13日に再開され11人の議員の一般質問がおこなわれ、議案の審議も続き、19日までの会期いっぱいまで閉会しました。提案された議案は、全会一致または賛成多数で全て可決されました。

一般会計は3.1%の減 きびしい自主財源

平成24年度の浦河町の一般会計予算は、総額86億2600万円です。

前年度当初に比較して2億7200万円、補正後との比較で

は5億1648万円の減額予算となりました。

伸び率は3.1%の減です。

歳入の主なもの地方交付税

で全体の41%にもなっています

町税は14億円、16.5%です

が、前年比3.3%の減です。

町債は15.6%、繰入金2.8

%、国庫支出金6.3%、道支

出金4.5%が主なものです。

国や道からの交付金、補助金

が収入の半分を占めており、自

主財源は3分の1と非常にきび

しい状況です。

歳出では、これまでの事業の

継続、行政としてやらなければ

ならない事業中心の構成となっ

ています。一番は町民の福祉、

安全対策を進める民生費17.5

%、2番目が町職員の給与費16

.6%、3番目は日赤への増改

築事業補助7億4327万円を

含む衛生費16.2%です。

借金を返すお金公債費が15.

7%、土木費が8.2%、教育

費6.2%、商工費5%農林水

産業費3.2%と続いています

歳入の半分は国や道からの交

付金、補助金が占めています。

町税などの自主財源は3分の

1と、全体として依存財源に頼

ることになり、きびしい財政運

営となりそうです。

町独自の事業に使えるものが少なく事業の活性化へのとりくみも積極策がとられていない状況で町経済全体へのきびしさが心配されます。

このような中で特に目玉となる大きな事業はありませんが、お年寄り、子どもたちへの施策はこれまで通り続け、安心・安全のまちづくりを進めます。

小中学校の耐震化調査、実施設計なども進みます。

公営住宅の補修事業も進めますが、長寿命化計画も策定し、建て替え事業も視野に入るように考えています。

人口減に歯止め、少子化対策も視野に「うらかわ出会い交流事業」Ⅱ婚活Ⅱに新規として取り組みます。

若い人の定着、結婚・子育てで人口減に歯止めをかけたい強い思いです。

効果が期待されます。

◆本年度の主な事業◆

- 議会中継システム導入事業
- うらかわ出会い交流支援事業
- 防災計画等作成事業
- 浦河赤十字病院増改築事業補助
- 農業担い手支援対策事業
- 漁業担い手支援事業

平成24年度 各会計の予算内訳

会計別	予算額	
一般会計	86億2600万円	
特別会計	特別養護老人ホーム	2億5565万円
	国民健康保険事業	17億5341万円
	後期高齢者医療	1億5352万円
	介護保険	10億6903万円
	臨海部土地造成事業	29万円
	下水道事業	6億4411万円
企業会計	簡易水道事業	1654万円
	水道事業	4億3841万円



工事の進む浦河赤十字病院

なお、この保険税には収入の少ない人への軽減対策があります。

引き上げの最大の理由は「医療費が増えている」ということです。

引き上げの最大の理由は「医療費が増えている」ということです。

引き上げの最大の理由は「医療費が増えている」ということです。

引き上げの最大の理由は「医療費が増えている」ということです。

引き上げの最大の理由は「医療費が増えている」ということです。

引き上げの最大の理由は「医療費が増えている」ということです。

引き上げの最大の理由は「医療費が増えている」ということです。

引き上げの最大の理由は「医療費が増えている」ということです。

引き上げの最大の理由は「医療費が増えている」ということです。

引き上げの最大の理由は「医療費が増えている」ということです。

○浦河町農畜産物販売普及促進事業補助

○新規狩猟者育成確保促進事業補助

○ご当地特産品開発支援事業

○浦河消防署消防ポンプ自動車更新事業

○東部小学校耐震診断事業

○浦河第二中学校耐震改修実施設計事業

引き上げになります

国保条例の改正

浦河町の国民健康保険条例の一部改正がおこなわれました。この条例の改正は、保険税を引き上げるものです。

平成24年度から26年度の3年間で1世帯当たり平均3万73

64円を引き上げるものです。

平成24年度は所得割で0.7

%の引き上げ、資産割は53%で

変更なし、均等割は2600円

の引き上げ、平等割は3200

円の引き上げとなります。

3年間では、所得割で2.1

%、資産割は変更がなく、均等

割で7600円、平等割で94

00円の引き上げとなります。

この他に後期高齢者支援分、

介護納付金等も引き上げになり

ますので1世帯平均で3万70

00円となります。

資産も所得もない一人暮らし

の方は、単年度で2230円、

3年間で6690円の引き上げ

となります。

100万円以下の収入の世帯

が半分以上を占める国民健康保

険事業です。きびしい内容とな

っています。この事業の中

心である医療費の支払いは年々増加しています。

一般会計から23年度、ただ

で見てもルール分も入れて

2億円を超える繰り入れを

しています。赤字も1億円

一人ひとりの税額が決定次第通知されますが、わからないときは保険医療課、税務課にご相談ください。

介護保険料は

すえおきに

浦河町の介護保険条例が改正されました。

介護保険事業は3年ごとに見

直しがおこなわれます。国の法

律にもとづいて各市町村でも条

例改正や事業の見直しがおこな

われます。

特に大きな問題は65歳以上の

人たちが支払う介護保険料の改

定です。

主に年金から天引きされてい

ますが、2カ月分ずつ引かれる

ので関心の高いものです。

浦河町はこれまで日高で一番

高い保険料といわれてきました

が、今回は保険料の改定をおこ

ないませんでした。

これまでの積立金6200万

円の一部を使って町民への負担

軽減を図ることとして、引き上

げはしませんでした。

全国、全道で大幅引き上げが



介護保険事業のデイサービス

国民健康保険事業は生命を守る重要な会計です。17億円と大きなものです。その中心は医療費です。

葬祭費1世帯2万円、出産育

児一時金1件42万円もこの会計から支払われています。

介護保険事業会計は介護サ

ービスをおこなう事業で、こちら

も10億円をこえる事業です。

後期高齢者医療特別会計は75

歳以上のお年寄りの医療保険料

を集めて広域連合へ支払うのみ

のものです。

臨海部土地造成、公共下水道

簡易水道、上水道の各事業はそ

れぞれ必要な費用を計画して

います。

全会計の総合計は129億5

695万円となっています。

全体で町の経済の活性化につ

ながって欲しいものです。

8つの特別会計は

優良な会計も

特別養護老人ホーム会計は、

歳入、歳出2億5500万円

で歳入の主なものは交付金1億8

175万円、入所している人が

負担する入所サービ負担金が

3438万円、一般会計からの

繰り入れが3002万円です。

老人ホームへの入所も無料で

はなく、収入に応じて個人の負

担があります。歳出では入所者

にかかる費用3316万円と職

員の給与費1億7954万円とな



意見書

―町民の声を国政に―

第2回定例会では、議員から1件の意見案が提出されました。可決された意見案は、国などの関係機関に提出しました。

◎医療計画、2次医療圏の基準見直しに関する意見書

原案可決